

## [演習林]

# 令和4年度 附帯施設演習林の活動報告

石川 知明

紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林長

本年度も依然としてCOVID19の影響により、一部の実習は感染対策をして宿泊で実施したものの、ほとんどの実習は日帰りで行った。

令和4年度に演習林で行われた活動の概況は以下のとおりである。

### 【研究】

「ナラ枯れ被害防除調査」を継続して実施している。また、三重県との共同研究の「人工林内の土砂移動試験」、関連教員の支援の下で「演習林産スギ材を用いた三重大学ブランド商品開発」などを行った。その他、関連研究室の調査研究補助を積極的に行った。

### 【教育】

「令和四年度演習林実習等実施計画表」にもとづき、計13回の実習を演習林において実施した。できる限り、対面による実体験を通して、樹木学、測量学、森林土木学、林分調査法、砂防学、森林利用学など、森林管理の現場で必要になる内容を網羅し、森林科学、森林管理に密着した実習を実施することで、実践的な人材の育成に努めた。

### 【地域連携・社会貢献活動】

- 間伐及び作業道整備の支障木を美杉木材市場に出荷した。
- 美杉木材市場の「木の駅プロジェクト」（未利用材買取り）における木質バイオマス発電用に間伐材の一部及び作業道整備の支障木材

等を出荷した。

- 生産している養殖アマゴを、地元河川の放流用等に出荷した。
- 歩道手入れ及び間伐等の作業時に支障灌木として切り捨てていたシキミやアセビ等を枝物商品として道の駅の直売所に出荷した。

### 【管理・運営】

- 昨年度に開設した東俣エリア（「7林班」）における作業道の延長工事を実施した。また、ぬたの谷の谷越え工事を「洗い越し」で実施するとともに、急勾配の部分などをコンクリートで舗装し、路面浸食を防止した。
- 三重大学生物資源学部オープンキャンパスにおいてフィールドサイエンスセンター展示ブースを設営した。
- 「生物資源学100周年」記念式典において、演習林作成の記念盾などを寄贈した。
- 生物資源学100周年記念行事の植樹式（抵抗性クロマツ）への参加及び事前準備（圃場整備など）を行った。
- 第5回三重大学おしゃれスポットで、演習林投稿写真が優秀賞を受賞した。